

平成11年12月15日
原子力安全対策課
(11 - 133)
<15時45分資料配布>

新型転換炉ふげん発電所の送電線落雷に伴う 原子炉自動停止について

このことについて、核燃料サイクル開発機構から下記のとおり連絡を受けた。

記

新型転換炉ふげん発電所（新型転換炉；定格出力16.5万kW）は、定格出力運転中の平成11年12月15日14時57分、送電線（敦賀線1 L、2 L）への落雷により送電ができなくなり、「蒸気加減弁急閉」の信号が発信し、原子炉が自動停止した。

発電停止後、非常用ディーゼル発電機は正常に自動起動して、必要な所内電源が確保されている。

現在、発電所の各設備・機器について点検を行っている。

なお、今回の事象による環境への放射能の影響はない。